



市内の被災状況について
確認する國島市長
(3月12日・奥飛驒温泉郷)

地震の発生を事前に知らせる 緊急地震速報

防災行政無線や防災ラジオなどで放送

緊急地震速報は、地震の大きな揺れがくる数秒～数十秒前に気象庁が発表する速報です。緊急地震速報以外にも弾道ミサイル攻撃情報、火山の噴火警報などが放送されます。

この速報は、全国瞬時警報システム(J-ALERT/ジェイ・アラート)を活用したもので、人工衛星などを使って情報を送信し、瞬時に緊急情報を伝達するシステムです。高山市では平成20年から運用を開始しています。

地震発生直後に予測

高山市で緊急地震速報が放送されるのは、気象庁が地震発生直後に震源地での最大震度が5弱以上、かつ高山市内の震度を4以上になると予想されたときに発表されます。

高山市の場合、緊急地震速報は防災行政無線や防災ラジオ、公共

施設などの緊急地震速報受信機などを通じて放送されます。

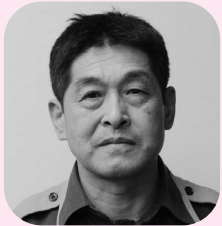
まずは身の安全を確保

緊急地震速報が放送された場合は、周囲の状況に応じて、安全を確保してください。その後、屋外への避難、近隣の避難所施設などへ避難します。

なお、緊急地震速報は、ほぼ同時刻に別の場所で地震が発生すると、うまく解析できず誤った規模や場所が発表されることがありますが、発表された場合は十分注意して、地震への備えを怠らないようお願いいたします。

●東北地方太平洋沖地震の被災地で検索・救助活動 想像を絶する異常な光景。被災者の姿に涙

地震発生直後の3月11日から岐阜県緊急消防援助隊の一員として福島県相馬郡新地町での検索・救助活動にあたりました。



高山消防署警防課長
榎坂治雄さん

最初に目に飛び込んできた被災地の光景は、想像を絶するものでした。「あそこに家が建っていた」と聞いても、あるのは土台の跡だけ。全く人がなく、今までに見たことのない異常な光景でした。宮城では水の中に建物や自動車

が浮いていました。私たちは約5キロ四方を人海戦術で竹やぶの中やテトラポットの下などヘリコプターから死角となる部分を探索しました。移動の沿道では、たくさんの被災者のみなさんが手を合わせて私たちを迎えてくれました。その姿に涙をこらえることができませんでした。

余震が続き、緊急地震速報が幾度となく出される中での活動でしたが、被災された多くの皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願わずにはられません。



●共同募金会
町内会連絡協議会や市社会福祉協議会などでは、町内会を通じて被災者への募金を呼びかけています。

問合せ先
市社会福祉協議会
35-0294
市民活動推進課
35-3412

避難者の受入を しています

飛驒市、白川村と連携して、所有している公営住宅、教職員住宅、移住体験施設、各種住宅などを無償で提供し、住宅を失うなどした被災者への生活支援を行っています。親戚や知人などに被災された方がいる場合は、ご相談ください。

問合せ先
地域政策課
35-3524

消防職員を 被災地へ派遣

3月11日の地震発生直後から、県単位で組織する緊急消防援助隊の一員として、6回・延べ26人(3月28日現在)の消防職員や緊急車両を被災地へ派遣。他市の消防職員と連携して救援活動にあたっています。

問合せ先
消防総務課
34-3792